

沖縄県名護市立 稲田小学校

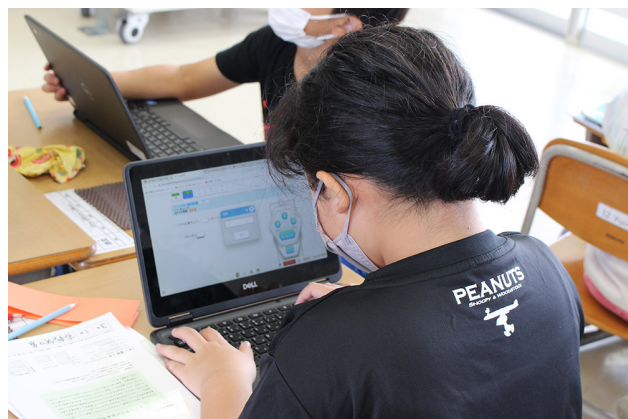


eライブラリで基礎学力の定着と意欲向上

～学校と家庭が連携し、基礎・基本の定着を促す～

稲田小学校は、サトウキビ畑と観葉植物畑、田園が広がる自然豊かな環境にあり、児童は学校・地域に温かく見守られながら、伸び伸びと学校生活を送っています。タブレットが導入され、基礎学力向上へのさまざまな取り組みをしています。今回は、学校と家庭学習で活用している、eライブラリの実践をご紹介します。

I まとめの時間は、先生からの課題で学習内容の定着



▲ 解答をキーボードで入力して答える

算数

3年：大きい数のわり算

めあて

 $\frac{1}{4}$ の長さを求めるには、どうしたらいいのかな。

この日の授業のまとめは、学習内容定着のため、先生が出題した課題を一斉に取り組みます。「eライブラリは、ドリルの難易度が3段階に分かれているため、習熟させたいレベルの問題を出題できます」と仲本先生。本時では、「標準」レベルの習熟を目指して真剣に取り組んでいました。

I 考えの可視化と共有が、気づきにつながる



▲ 学習メモ機能で、画面に紙テープを書いて、求め方を考える

本時の学習活動の中で、長さを求めるときに紙テープを使って答えを予想しました。ドリルで問題を解くときも同様に、学習メモ機能を使い、画面に紙テープを書いて正答を導き出します。

児童によって、考え方はさまざまです。思考を可視化することで、自分の考えを友達同士で共有しやすくなったり、そこから新たな気づきが見つかったり、自然と学び合いが生まれていました。日常的な活用が、理解の深化にもつながっています。

授業の流れ



他のアプリで問題を出題して、かけ算の定着を図る。



紙テープを使って考え、問いの答えを予想する。



個人・グループで考えたことを全体に共有する。



本時の学習内容をeライブラリで復習する。

その週の既習事項を、週末課題で復習



▲ 家で先生からの課題に取り組む

家庭学習が学校の学習内容とつながることをねらいに、その週の既習事項を週末課題として出題しています。

週末課題には、児童の学びを保障できる環境を整えたいという仲本先生の思いも込められています。

週末課題がeライブラリになってから、児童も楽しそうに学習していると保護者からも喜びの声をいただいているとのことです。

運用の流れ

課題を出題

出題教科 6 学年 国語 算数 理科 社会 英語 音楽 体育 美術 保健 家庭科 外国語 総合 職業 情報 道徳 特別活動 部活動 選択科目

1 小3 国語 3人で同じに分ける (1)

2 小3 算数 3人で同じに分ける (2)

3 小3 算数 おこずけ (1)

4 小3 国語 漢字の読み

5 小3 理科 虫がはいよす

6 小3 社会 田舎のあるところ

学習レベル ● 設定しない ○ 基本 ○ 標準 ○ 挑戦 ○ 個別選択

家庭で取り組む



取り組み状況確認

月	00時～	11時～	14時～	17時～	20時～	23時～	04時～	備考
4月								
5月								
6月		21	9	21				
7月	18	168	133	132	11			変更なし (第1週)
8月	6	12	7	15	2			変更なし (第1週)
9月	6	3	12	7				1 変更なし (第1週)
10月	33	83	86	24				変更なし (第1週)

- 各担任の先生が課題を出題する。
- 1回に出題する教材は10教材前後。
例) 算数: 3教材
国語・社会・理科: 1教材ずつ

- タブレットを持ち帰り、eライブラリで学習する。
- ドリルの難易度は自分で選ぶ。

- 「学習指示へ」>「学習指示一覧」から提出状況を確認する。
- 「成績管理へ」から理解状況や学習している時間帯を確認する。

先生の工夫

- 児童の宿題忘れを想定し、提出期限は余裕をもって設定している。
- 自分の学習進度に沿って学習できるように、問題の難易度は自分で選べるようにしている。
- 成績管理の「取組姿勢」と「学習行動」から学習状況や学習時間を確認して、児童とコミュニケーションを取るきっかけにしている。

インタビュー

eライブラリを利用して感じたことと今後の展望



eライブラリは、直感的に操作できることや教材が難易度別に分かれているところなど、児童に取り組みやすいと感じたことがきっかけで利用しました。

最初は、週末課題として家庭での利用から始めたところ、児童と保護者に好評で、学校でも単元のまとめや隙間時間などで利用するようになりました。普段から教材の難易度は、自分で選ばせるようにしていますが、最近では、「挑戦」に取り組む児童が増えています。「挑戦」は、教科書に載っていない問題が出題されますが、それが児童の探求心を高めています。友達同士で学び合う姿が多く見られるようになり、eライブラリを利用した効果だと思っています。日常的に利用することで、日々の学習活動の中でも、児童の基礎的・基本的な力が着実に身につけていることを実感しています。

今年度の夏休みの課題は、3年から6年は紙のドリルを購入せず、eライブラリに取り組みせました。今後は、全学年で利用できるようにして、「eライブラリの日」を設けて、学習意欲をさらに高めていきたいです。そして、主体的・対話的な学びにつなげていきたいと考えています。